

令和5年度事業報告

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

事業概況

東日本大震災から13年が経過し、避難指示区域の解除も進んできましたが未だに2万人を超える方が県外での生活をしています。一日も早く震災前の生活が戻ることを願っています。

さて、バス事業に甚大な影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は昨年5月、感染法上の位置づけが5類感染症に移行されました。それまでの感染対策としての外出規制が無くなったことからバス需要の回復が期待されたところです。

県内の乗合バス事業は自家用車の普及や少子高齢化、また、新型コロナ禍での生活様式の変化もあり、依然、厳しい状況にあります。さらに、燃料価格の高騰が経営を圧迫しています。

貸切バス事業についてもバス需要の回復は見られるものの、未だコロナ前の水準には戻っていません。貸切バス事業に関しては、平成26年に導入された運賃・料金が人件費や燃料費等のコストが上昇していることから、これを運賃・料金に反映させ、さらなる安全への取組ができるよう、令和5年8月に新たな運賃・料金が公示され、更に車種区分の適正化を目的として令和6年3月にも新運賃・料金が公示されました。協会でも関係機関に対し新たな運賃・料金の周知に努めました。運賃改定が経営の安定に期することを願っています。

バス業界では以前から運転手不足が叫ばれてきましたが、2024年問題への対応もあり、さらに深刻さを増しています。乗合バス事業については運転手不足からバス事業の廃止、路線の廃止、運行回数的大幅な減便といったものが現実のものとなっています。このような状況で、乗合バス事業者は公共交通機関としての使命を果たすことが困難になっていますが、事業者による創意工夫、行政の取組により何とか維持をしている状況です。

貸切バス事業においても、運転手不足は深刻なものとなっており、このままでは増えてきたバス需要に応えることができなくなります。観光といった交流人口を支え地域経済の活性化を担っている貸切バスですが、その重要な役割を果たせなくなるおそれもあります。

運転手不足についてはバス協会としても重要課題と捉えています。対策として会員との合同による就職説明会を開催するなど雇用の確保に取り組み、若干名ではありますが

採用に至るなど成果がありました。

厳しい経営状況にあるバス事業ですが、事業を維持するための事業者の自助努力にも限界があり、事業継続のためには行政の支援が不可欠となります。福島県バス協会は令和5年度においても自治体に対し、バス事業への支援要請を行いました。支援を頂きました関係機関、関係者の皆様に改めて感謝いたします。

旅客自動車運送事業にとって最も重要なことは言うまでもなく輸送の安全確保にあります。当協会はこの一年間、輸送の安全確保を念頭に置き、関係行政機関のご指導並びに会員各社のご理解を頂きながらバス事業への信頼確保に努めてまいりましたので、その概要を報告いたします。

1. 乗合バス事業

(1) 多くの自治体において「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「地域公共交通計画」を計画しているが、福島県バス協会および会員事業者も、その協議の場である地域公共交通会議に委員として参加し、公共交通の果たすべき役割についての議論を行った。避難指示区域の解除の拡大に伴う帰還住民の足の確保のための公共交通網整備の観点からも同会議への参画は益々重要なものになっていくと思われる。

(2) エコ定期券について

エコ定期券（土・日・祝日適用）について、バス利用者へPRするためポスターを作製するとともに、バス車内及び施設等へ掲示しバスの利用拡大に努めた。

(3) 乗合バス事業の輸送実績について

2023年（令和5年1月～令和5年12月）輸送実績

	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	実車1Km当り 運送収入 (円)	実働車1日1車当り		
				走行キロ (Km)	輸送人員 (人)	運送収入 (円)
2022年	14,116,772	5,495,204	190.7	171.6	66.5	25,870
2023年	14,963,991	6,257,996	217.7	171.2	72.9	30,470
前年比 (%)	106.0	113.9	114.2	99.8	109.6	117.8

2. 貸切バス事業

(1) 貸切バス事業の輸送実績について

2023年（令和5年1月～令和5年12月）輸送実績

	実働率 (%)	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	実働車1日1車当り			運行回数 1回当り 実車キロ(Km)
				走行キロ (Km)	輸送人員 (人)	運送収入 (円)	
2022年	28.2	2,435,387	5,967,965	130.9	26.6	65,096	64.0
2023年	32.5	2,790,248	6,999,728	146.4	27.6	69,305	76.0
前年比 (%)	-	114.6	117.3	111.8	103.8	106.5	118.8

3. 関係機関への要望関係

(1) 令和6年度県予算編成に対する要望

R5. 9. 4 自由民主党福島県議会議員会
福島県議会県民連合議員会
公明党福島県議会議員団

(2) 燃料価格高騰への支援に対する要望

R5. 6. 8 福島県知事
R5. 7. 27 福島市長
R5. 9. 21 自由民主党福島県議会議員会
R5. 10. 19 自由民主党衆議院議員 亀岡偉民 議員

4. 安全輸送及び環境対策

(1) 全国交通安全運動及び年末年始輸送安全総点検の実施について、全会員へ周知し、その推進を図るとともに実施結果を関係機関に報告した。

(2) 「テロ対策の徹底」についての周知を通じて、日本バス協会が策定した「バスジャック統一対応マニュアル」による対応徹底を図った。

(3) 飲酒運転防止週間において、「飲酒運転防止対策マニュアル」の徹底について全会員へ周知し、飲酒運転防止に努めた。

(4) 自動車点検整備推進運動(9月・10月)とエコドライブ強化月間(11月)の「バスの環境対策強化期間」に会員の積極的な参加を呼びかけ、本運動の推進に努めた。

(5) 交通事故や車内事故を撲滅し、利用者の安全を確保するため、関係行政機関等と連携協力し、「事業用自動車総合安全プラン2025」に基づき各種安全対策を推進するとともに、事故削減等の取組みに努めた。

貸切バス等においてはシートベルト着用啓発カードの配布により、車内事故防止啓発を行った。

(6) 脱炭素社会の実現等を目的とした「ふくしま環境基本計画推進協議会(福島市事務局)」に令和3年度から参画し、協議会の主要な行事である「ふくしま環境フェスタ」開催への協力を行った。

5. ホームページでの情報提供

ホームページをリニューアルし閲覧者の利便向上を図るとともに、当協会の事業概要の他、会員の営業内容等を最新のものに更新し、情報提供を行った。

6. 運輸事業振興助成交付金事業

(1) 施設整備に対する助成事業として、既存施設の上屋の補修の他、行先表示機や衛星携帯電話の導入に対し助成した。

(2) バス輸送サービス改善事業として、接客サービス研修会を実施した他、バス路線図、旅客サービス資材としてウェットティッシュ・エチケット袋等を作製・配布した他、公益社団法人日本バス協会のバス輸送改善推進事業「人と環境にやさしいバス普及事業」及び「地方路線バス及び貸切バス助成事業」に準じて、バス車両導入に対し助成した。

また、バスの乗務員不足が深刻化していることから、公益社団法人日本バス協会の「運転者人材確保のための取り組み事例に対する助成事業」による助成金も活用し、マスコミを通じて窮状を訴えるとともに、関係機関の後援を得ながら郡山市内において、富久山自動車学校の協力のもと協会主催により会員との合同による就職説明会を開催し、併せてバスの運転体験を実施した。

(3) 安全運行対策事業として、運転者の適性診断・運行管理者等講習・適性診断活用講座・運輸安全マネジメント講習等の安全運行に係る各種講習等経費の他、睡眠時無呼吸症候群診断・脳ドック等の健康に起因する事故防止に関する経費、運転記録証明書並びにドライブレコーダー(デジタルタコグラフを含む)等の安全運行機器の

導入経費等に対して助成した他、救急法講習会の実施、のぼり旗や車内事故防止ポスター等の配布により事故防止啓発に努めた。

7. バスの日関係

- (1) 地元紙（福島民報・福島民友）にバスの日及び会員等のPRのために全1ページ分の広告を掲載しバスの利用促進に努めた。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、令和2年度から開催を見送ってきた福島バスまつりですが、コロナの5類移行に伴い「第13回福島バスまつり」の開催を決定しましたが、開催前日の台風第13号による大雨の影響により急遽中止とした。配布を予定した資材等については、各地区の乗合バス事業者が行うバスの乗り方教室等を通じ利用者へ配布するなどして、バスの利用促進に努めた。
- (3) 「バスに一言」のアンケートを公募し、抽選により70名の方に3,000円分のICカードまたはバス回数券を贈呈した。
また、アンケートの集計結果を全会員へ周知し、バス利用者へのサービス向上に努めた。

8. 運行管理者試験

- (1) 運行管理者試験対策勉強会により、合格率向上に努めた。
- (2) 試験実施結果

	地区別	申請者数	受験者数	合格者数	合格率	勉強会参加者 合格率	備考
第1回	福島県	68	62	19	30.6%	22.2%	
	東北	338	312	108	34.6%	-	
	全国	5,663	5,158	1,780	34.5%	-	
第2回	福島県	78	72	17	23.6%	25.0%	
	東北	375	354	111	31.4%	-	
	全国	5,890	5,434	1,984	36.5%	-	

9. 会員数（令和6年3月31日現在）

一般乗合・貸切旅客自動車運送事業者(みなし4条事業者を含む) 13事業者
 一般貸切旅客自動車運送事業者 37事業者
 計 50事業者

車両数 乗合 873両 貸切 951両 特定 28両 合計 1,852両

10. 表彰関係

- (1) 東北運輸局長表彰（令和5年11月1日）
 - 従事者 4名（福島交通株2名、会津乗合自動車1名、新常磐交通1名）
 - 運転者 10名（福島交通1名、会津乗合自動車4名、新常磐交通5名）
- (2) 福島運輸支局長表彰（令和5年11月1日）
 - 従事者 7名（福島交通1名、会津乗合自動車3名、新常磐交通3名）
 - 運転者 16名（福島交通7名、会津乗合自動車2名、新常磐交通4名、ジェイアールバス東北3名）
- (3) 公益社団法人日本バス協会長表彰
 - 観光バスガイド褒章（令和5年6月1日）
 - ガイド 1名（福島交通1名）
 - 優良バス運転者表彰（令和5年12月1日）
 - 運転者 6名（福島交通4名、会津乗合自動車2名）